



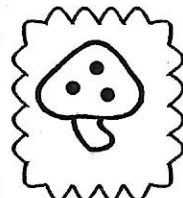
令和2年

11月 7日(土)

【No. 5】

11月も1週目が終わり、来週はいよいよ期末考査が行われます。準備は順調に進んでいますでしょうか？これまでの経験を生かして、自分にとって“値打ちのある点数”がとれるように頑張りましょう。

今回は、先日行われた運動会の感想文『運動会を振り返って』を紹介します。みんなが全力投球で挑んだアツい一日、クラスメイトはどんなことを感じたのでしょうか…。



(敬称略)

A 組

ぼくは体育行事委員でした。最初から練習を見ていたので、すごくみんながバトンパスが上手くなっていて、すごいと思いました。運動会前日、リレーのタイムが10秒遅くなり、やばいと思いました。本番みんなが思いやりをもってアンカーにバトンを渡せて、2位というすごくいい順位をとれて、1-Aとして、今年数少ない行事の中で、最高の思い出になったと思いました。走順を変えたり、いろいろな作戦を考えてやることの楽しさや、みんなで一つの目標を達成しようとする思いが一つになったことで、本番でいつも以上のパワーが出せたと思いました。体育行事委員は、バラバラだったバトンパスを上手くいくようにするにはどうすればいいかを考えたり、学年練習を進めたりと、様々なことにチャレンジして、最初は上手いいかないことばかりだったけど、この経験を生かして、いろいろなことにチャレンジしていきたいと思います。

🗣️「今回の運動会で、体育行事委員の責任は重く、本当に大変だったと思います。しかし、みんなのその頑張りが行事の大成功につながりました。貴重な経験をしましたね！」

A 組

私にとって、中学校で最初の運動会でした。けど、コロナウイルスの関係で、リレーだけになってしまったので、最初は運動会じゃないじゃんと思っていました。でも、伊藤先生に、「リレーだけでも運動会だから」と言われ、リレーで精一杯頑張ろうと思い、みんなとリレーをたくさん練習しました。作戦を立てたり、どうしたら勝てるかなど協力しました。だけど練習では、他のクラスにすごく差をつけられたりしました。私は、もう無理かなと思っていたら、他のみんなが、「もう少し、こうすればもっと速くなると思う」などと言われ、あきらめたらだめだと思い、たくさん協力しながら練習しました。なので、本番では準優勝で2位をとり、最高記録も出ました。

私は、あきらめず協力し合ったら、必ずできるということを学びました。みんなに感謝しています。

⑤「自分が少し弱気になったとき、周りの仲間の支えで頑張ることができたのは、本当に良い経験でしたね。次は、あなたが誰かを支える番になるかもしれませんね…」

B 組

ぼくは、体育行事委員としてクラス・学年を引っ張ってきて、入ってよかったと思ったことが2つあります。1つ目は、優しく正確に教えてくれる先輩達がいたことです。分からないことがあったとき、「もっとこうの方がいいよ」などのアドバイスをくれたのが、とても嬉しかったです。2つ目は、みんなの一生懸命に頑張っている姿を、一番近いところから見る事ができたことです。全力でバトンパスやリレーの練習に取り組んでいて、「自分もみんなと同じくらいにやらなきゃ」と思えました。自分のクラスは最初、学年最下位でした。が、練習をするうちに、タイムはみるみる速くなり、みんなの自信も出てきました。本番は三位でしたが、タイムは最初と比べると、なんと23秒も縮んでいたのです。これは、みんなの自信にもなったし、何よりこの運動会を通して、またさらに団結力が上がったと思います。これからまた、いろいろな行事がやってきます。それも、みんなが団結してできたらと思います。

⑥「大きな行事を経験すると、先輩たちの素晴らしさを改めて実感できますね。委員会でのアドバイス、クラスの団結力、前向きに取り組む姿勢…、どれも勉強になりましたね」

B 組

私は、B組のバトンをつなげて良かったと思いました。最初の学年リレーでは、とても差をつけられての4位だったけど、日々練習していくうちに、バトンパスがとても上手くなって3位までになり、タイムも23秒も縮められました。こうやって成果も残せたのは、みんなが本気でバトンをつなぐという気持ちがあり、0.1秒でもタイムを縮めようと思って走ってくれたからだと思います。声がかれるくらい本気で応援したり、他の学年のリレーも本気で応援していたりと、運動会をととても盛り上げていたりして、B組は自分のことじゃなくて、相手を思いやる気持ちが一人一人にあることが伝わり、今回1位はとれなかったけど、B組の良さや絆が増えたので、運動会を今のB組でできて、本当に良かったと思いました。

⑦「クラスの良さが改めて実感できたようですね。相手を応援できる、仲間を思いやれる雰囲気というのは、本当に貴重ですね。さらに良いクラスを作っていきましょう」

C 組

中学生になってからの初めての運動会で、とっても緊張した。でも、始まると緊張もとんで、楽しく応援や自分の走りができた。走るとき、バトンの受け渡しでミスをして、タイムを落としてしまい、みんなには本当に悪いことをしてしまったと思う。そのため、結果は4位。最下位になってしまった。でも、みんながそんなときに、励ましの言葉をかけてくれて嬉しかった。このクラスは、お互いに優しい言葉や励ましの言葉をかけてくれる、いいクラスだと改めて感じた。今回の運動会は、きっとみんな悔しかったと思う。この悔しさを、次は合唱祭で挽回できるように頑張っていきたい。

●「あなたが日頃から一生懸命に取り組んでいるのを、みんなは知っているから、優しい言葉をかけてくれたのでしょう。次の行事も、みんなで頑張っていけるといいですね」

C 組

私は、今回の運動会、とても思い出に残るものになったと思いました。最初に運動会でリレーをすると知ったとき、とても嬉しかったです。私は、走ることがとても好きだったので、頑張りたいと思いました。しかし、リレーは走るだけでなく、バトンパスが重要だということが分かりました。最初は、全然上手くいかず、「本番、大丈夫か」と不安に思うこともありました。しかし、練習していくにつれて、とても上達していきました。そして本番の今日、「全力を出し切ろう」と思い、リレーに臨みました。自分の番がくると、とても緊張しました。しかし、バトンパスは見事成功しました。とても良くて、今までで一番だったと思いました。C組は4位だったけれど、みんなが最後まであきらめなかった結果だったので、とても良かったと思いました。

●「一所懸命に練習を積んでいくと、どんなことでも必ず上達していくのですね。やはり、あきらめずに努力を重ねていくことが、何よりも大切なことなのでしょうね…」

D 組

初めて練習を行ったときは、アンダーハンドパスの行い方で、加速していない状態でのバトンパスも上手くできなくて苦しみました。自分は走順が、後ろから前へと変更になり、新しいペアでのバトンパスも苦しみました。練習を重ねていくうちに、だんだん加速した状態でバトンパスができるようになっていきました。また、自分は「はい」と言われる前に手を出して走ってしまい少し減速したり、「ゴー」と言うタイミングがなかなかつかめずにいました。けれど、そんなときに勇気をもらったのは仲間でした。一本一本全力で取り組み、大きな声で声かけをしている姿がたくさん見られ、自分も頑張ろうと思いました。そして迎えた本番では、序盤から大きなリードを保っていたので、楽な気持ちで次の走者を待つことができました。クラスのスローガンである「一点集中、全力投球」というフレーズが、走っている間に頭の中を何度もよぎりました。緊張からか、少し体がかたかったり、バトンパスの際に少し早く、「はい」と言ってしまったことがありました。しかし、バトンは自分達の想いを乗せて渡すことができました。

クラスの新記録、9分56秒と聞いたときは、とても嬉しかったです。また、今回の運動会で見た3年生の先輩の行動などを、しっかりと受け止めることができました。3年生の先輩のような行動ができるように、意識していきたいと思います。

④「本番で、今までの最高記録が出るなんて、素晴らしいことですね。きっと、一人一人が、自分にできることをきちんとやり遂げたからこそその結果ですね。おめでとう！」

D 組

私は、今回の運動会で、友達の大切さを学びました。初めて行ったリレーでは、今回のタイムと比べて遅く、バトンミスもありました。また、応援の声や励ましの声も小さく、絆が深いというわけではありませんでした。けれど、みんなで練習していくごとにタイムは上がり、声援も大きくなりました。練習では、みんなで改善点を挙げたり、バトンパスの練習をしました。一時期、タイムが伸び悩むときもありましたが、全員が全力で取り組めていました。運動会当日では、私はすごく緊張していました。「バトンミスをしないか」「私のところで抜かされないか」といった不安がありました。けれど、私が走る前に、友達に「頑張って」といった声をかけてもらい、安心することができました。また、走っているときに、部活の先輩に「頑張って」と声をもらい、頑張ることができました。他のみんなも私と同じ思いだったと思います。そういったところで、練習で絆が深まり運動会で良いタイムを出せたのだと思います。また、そのような思いがあったからこそ、9分56秒という記録を出したとき、心の底から喜べたのだと思います。悔いのない楽しい運動会になったと思います。

⑤「みんなで協力して取り組んできたからこそ、価値のある“新記録”になりましたね。

この経験を生かして、これからD組がどんなクラスに成長していくのが楽しみです」



⑥「新型コロナウイルスの影響で、思うように予定が進められない中、やっと実施できた『運動会』。中学校で経験する初めての大きな行事で、1年生のみんなはキラキラと輝いていたのう…。クラスに指示を出す体育行事委員、それに応えるクラスの仲間たち。3年生の動きを手本に、本当に良く頑張っておったぞ。〈ひばりラン〉では、なんとか先輩たちについていこうとしている姿が微笑ましかったのう。競技では、誰一人として手を抜く者はおらず、全力投球で頑張っておった。そして、仲間たちの応援の声もものすごかったわい。今年は、たった一つの競技しか行えなかったけれど、先輩たちと一緒に素晴らしい『運動会』を作り上げることができたのじゃ！また一步、“ひばり中生”に近づいたのう…」